

整理番号 2019P-110

補助事業名 2019年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業

補助事業者名 (公財)日本交響楽振興財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

青少年への交響楽の普及を目指して、オーケストラの演奏活動を支援するとともに、音楽活動を通じた人材の育成とわが国の芸術・文化の向上に努める。

(2) 実施内容

<http://www.symphony.or.jp> (URL) 日本交響楽振興財団トップページ

① 巡回公演 http://www.symphony.or.jp/i_annai_2019_001.html

② アマチュアオーケストラ http://www.symphony.or.jp/iv_annai_2019_001.html

巡回公演12回、アマチュアオーケストラの演奏会5回、楽器演奏クリニックを4回(30教室)実施。巡回公演には在京の新日本フィル、東響、読響に加えて、アンサンブル金沢、山形響、仙台フィル、関西フィルなど各地の楽団が出演した。ソリストにはピアノの小山実稚恵、辻井伸行、ヴァイオリンの南紫音、正戸里佳、ギターの村治佳織らが出演した。アマオケ演奏会では、山梨響がシベリウスの「フィンランディア 混声合唱付き」を、西東京ジュニア・ユースオーケストラがベートヴェンの「田園」を演奏するなど、日頃の練習成果を披露した。



高山公演



大船渡公演



会津若松公演



有田公演(楽器演奏クリニック)



西東京公演(アマチュアオーケストラ)

〔巡回公演〕				
開催日	開催場所 (※楽器クリニック実施)	楽団	指揮	独奏(唱)
2019 7/17	高山市民会館	オーケストラ・アンサンブル金沢	パトリック・ハーン	ピアノ 辻井伸行 トランペット ルシエンヌ
7/28	有田市民会館 (※)	大阪交響楽団	ガブリエル・フェルツ	ピアノ 長富彩
9/16	武蔵野市民文化会館	東京ニューシティ管弦楽団	曽我大介	ヴァイオリン 吉江美桜 メゾソプラノ 高野百合絵
9/16	岡谷市文化会館 (カノラホール)	新日本フィルハーモニー交響楽団	垣内悠希	ピアノ 小山実稚恵
10/13	山形テルサ	山形交響楽団	飯森範親	チェロ サンティアゴ・カニョン=ヴァレンシア ピアノ ドミトリー・シシキン ヴァイオリン 金川真弓 フルート マトヴェイ・デヨーミン
11/17	アクシスかつらぎ	新日本フィルハーモニー交響楽団	松村秀明	ピアノ 岡田将
11/29	會津風雅堂	東京フィルハーモニー交響楽団	円光寺雅彦	ヴァイオリン 南紫音
12/21	長野県県立県民文化会館 ホクト文化ホール (※)	東京交響楽団	円光寺雅彦	ヴァイオリン 齋藤滯緒 栗林衣李 独唱 文屋小百合、石井藍 与儀巧、近藤圭 合唱 ながの第九合唱団
2020 1/19	大船渡市民文化会館 (リアスホール)	仙台フィルハーモニー管弦楽団	岩村カ	独唱 土井尻明子 菅野祥子 西野真史、小原一穂 合唱 けせん「第九を歌う会」、県内外有志
1/26	舞鶴市総合文化会館	関西フィルハーモニー管弦楽団	園田隆一郎	ギター 村治佳織
1/26	ライフポートとよはし (※)	新日本フィルハーモニー交響楽団	三ツ橋敬子	ヴァイオリン 正戸里佳
2/5	福井県立音楽堂(ハーモニーホールふくい)	読売日本交響楽団	山田和樹	ヴァイオリン ネマニャ・ラドゥロヴィチ
				合計 12 公演

〔アマチュアオーケストラの演奏活動〕				
月日	開催場所	楽団	指揮	独奏（唱）
2019 5/25	山形市民会館	山形フィルハーモニー交響楽団	靄山和明	ギター 村治佳織
6/9	愛知県芸術劇場	プランタン管弦楽団	中村暢宏	-
6/23	YCC 県民文化ホール（山梨県立県民文化ホール）	山梨交響楽団	新田ユリ	-
9/29	八尾市文化会館	オーケストラ・アンサンブル・フォルツァ	嶋田敬信	-
2020 1/19	保谷こもれびホール	西東京ジュニア・ユースオーケストラ	宮澤等	ピアノ 鎌田大翔
				合計 5 公演

2 予想される事業実施効果

全国1,741市町村のうち1,500あまりの市町村では演奏会が実施されておらず、巡回公演とアマチュアオーケストラの演奏活動は地方でのオーケストラ音楽の振興・普及、青少年の情操育成に資するとともに、「文化芸術の地域間格差」を是正している。巡回公演の一環として行っている楽器演奏クリニックや公開ゲネプロ、指揮者などによる音楽講話は、青少年がオーケストラ音楽に親しみ、関心を深めるよいきっかけとなっている。オーケストラコンサートを開催する機会が少ない会館にとっては、巡回公演を実施することにより、演奏会の企画・立案・運営能力の向上につながる。開催地の要望により、楽団はこれまで協演したことのない指揮者や独奏者と組むことがあるが、これは楽団の可能性を高める。開催地にとっては、指揮者や楽団員が演奏会だけでなく、地元の名所や名物までSNSで紹介することも少なくなく、大きなPR効果となっている。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの 該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

巡回公演 http://www.symphony.or.jp/i_annai_2019_001.html

アマチュアオーケストラ公演 http://www.symphony.or.jp/iv_annai_2019_001.html

（・競輪補助事業の表示 1公演あたり公演チラシ約10,000部以上、ポスター約100部、チケット約500-1500枚、プログラム約1,000部、立看板等）

2019年度 公演チラシより



2019年度 公演プログラム（会場にて配布）より



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人日本交響楽振興財団（コウエキザイダンホウジン ニホンコウキョウガクシンコウザイダン）

住所： 〒101-0047

東京都千代田区内神田三丁目9番3号

代表者： 会長 原 良也（ハラ ヨシナリ）

担当部署： 事務局

担当者名： 事務局長 林 寛爾（ハヤシ カンジ）

電話番号： 03-3253-2032

F A X： 03-3253-0566

E - m a i l： nihon@symphony.or.jp

U R L： <http://www.symphony.or.jp>